

上戸田本村遺跡第8次発掘調査概要

- 1 調査期間 令和7年12月15日（水）から令和8年1月31日（土）
- 2 調査地 戸田市本町3丁目1879番2、1880番2
- 3 調査対象面積 334.89㎡
- 4 調査主体 戸田市教育委員会
- 5 調査担当者 生涯学習課 主事 今井 源吾

6 検出された遺構

竪穴建物跡7軒 弥生時代後期～古墳時代前期

溝状遺構4条 古墳時代中期～中世

ピット 131基 古墳時代前期～近世

検出された遺物

土師器（古墳時代前期）、須恵器（平安時代）、陶磁器（中世～近世）

石製品（中世～近世）

7 内容

上戸田本村遺跡第8次調査は、第6・7次調査の東側に位置する。弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴建物が検出され、当時の集落範囲が東側まで広がることが判明した。また多数のピット群を検出しており、中世の屋敷地に関連する可能性がある。

南側調査区完掘



出土遺物（二軒屋式系土器）

